

一般社団法人 熊本県社会福祉士会ニュース

CSWくまもと Certified Social Worker

<もくじ>

- P1 2025年度 定時社員総会
- P2 社会福祉セミナー2025
- P3 ソーシャルワーカーデーくまもと2025
- P4 新規合格者の集い/福祉の就職フェア
- P5 こうのどりのゆりかご現地見学
- P6 地震支援金/広がる未来プロジェクト
- P7 全国大会/SNS注意事項/余暇良か写真館
- P8 研修会のご案内/つばやき



専門性を発揮する場の充実を図る
執行部体制の再編で機能強化

2025年度 定時社員総会

6月28日、一般社団法人熊本県社会福祉士の定時社員総会が熊本市中央区のKKRホテル熊本において開催された。会場には58名が出席し、527名分の委任状が提出され、全会員884名の過半数を超えたことで総会は成立した。

▲総会の様子

梅田孝子会長から執行部体制の再編や部会構成の見直しを進めてきた経緯の報告がありました。さらに、活動が一時低迷していた相談委員会の再起動に着手したことにも触れ、組織全体の機能を強化したことを説明しました。

各委員長および、各ブロック長から、2024年度の活動実績が報告されました。地域課題に対応した研修の実施や関係機関との連携推進、災害支援の体制整備など、多様な取り組みについて示されました。

その後の決議事項では、計算書類等の承認が審議され、すべての議案が賛成多数により可決されました。総会は終始円滑に進行し、今後の運営に向けた共通認識を深める機会となりました。



▲挨拶する梅田孝子会長

このたびの8月の熊本県内の大雨により被害を受けられたみなさまに心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。

今回の災害でお亡くなりになった方のご冥福を心からお祈りするとともに、いまなお、行方不明になられている方の一刻も早い救助を願っております。

本会としては、災害時支援委員会を中心に被災地のみなさまの精神的な落ち着きや、生活再建への意欲を取り戻し、安心して日常生活が送られますよう支援を行っていきたくと考えております。

みなさまのご健康と一日でも早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

2025年8月
一般社団法人
熊本県社会福祉士会
会長 梅田 孝子

さあ旅に出かけましょう

ユニバーサルデザインから見えてくるもの

社会福祉セミナーを開催



社会福祉セミナー2025

6月28日、熊本県社会福祉士会「社会福祉セミナー2025」が開催され、旅のよろこび株式会社 代表の宮川和夫氏をお招きし、「さあ旅に出かけましょう～ユニバーサルデザインから見えてくるもの～」と題しての講話が企画された。宮川氏はクライアントの生きがいや尊敬、多様性を支えるために奮闘。熊本日日新聞でご自身の人生行路を語る連載記事でも話題に。

▲熱く講話する旅のよろこび株式会社 代表取締役 宮川和夫氏

旅のよろこび社は高齢の方や、さまざまな病気・障がいがある方も楽しめるような旅行を企画しています。また、個別の旅行の相談対応もしています。

セミナーでは、旅のよろこび社の設立時の苦労話や旅先で見られた笑顔、胸を打つお話の数々を講演頂きました。熊日新聞の連載では語られなかった貴重なエピソードも熱く話され、参加者は熱心に聞き入っていました。

旅に出ることを、叶わぬ夢と思ったり、自信をつけられ生き生きと生活されている変化が伝わってきて、社名通りの旅の喜びが講演のなかでは聞かれました。

一方、安全面の理由で企画を断られたり、リフト付き観光バス導入の苦労話、ユニバーサルデザインでの旅行ツアーで利益を上げていくことの苦労など現状も話され



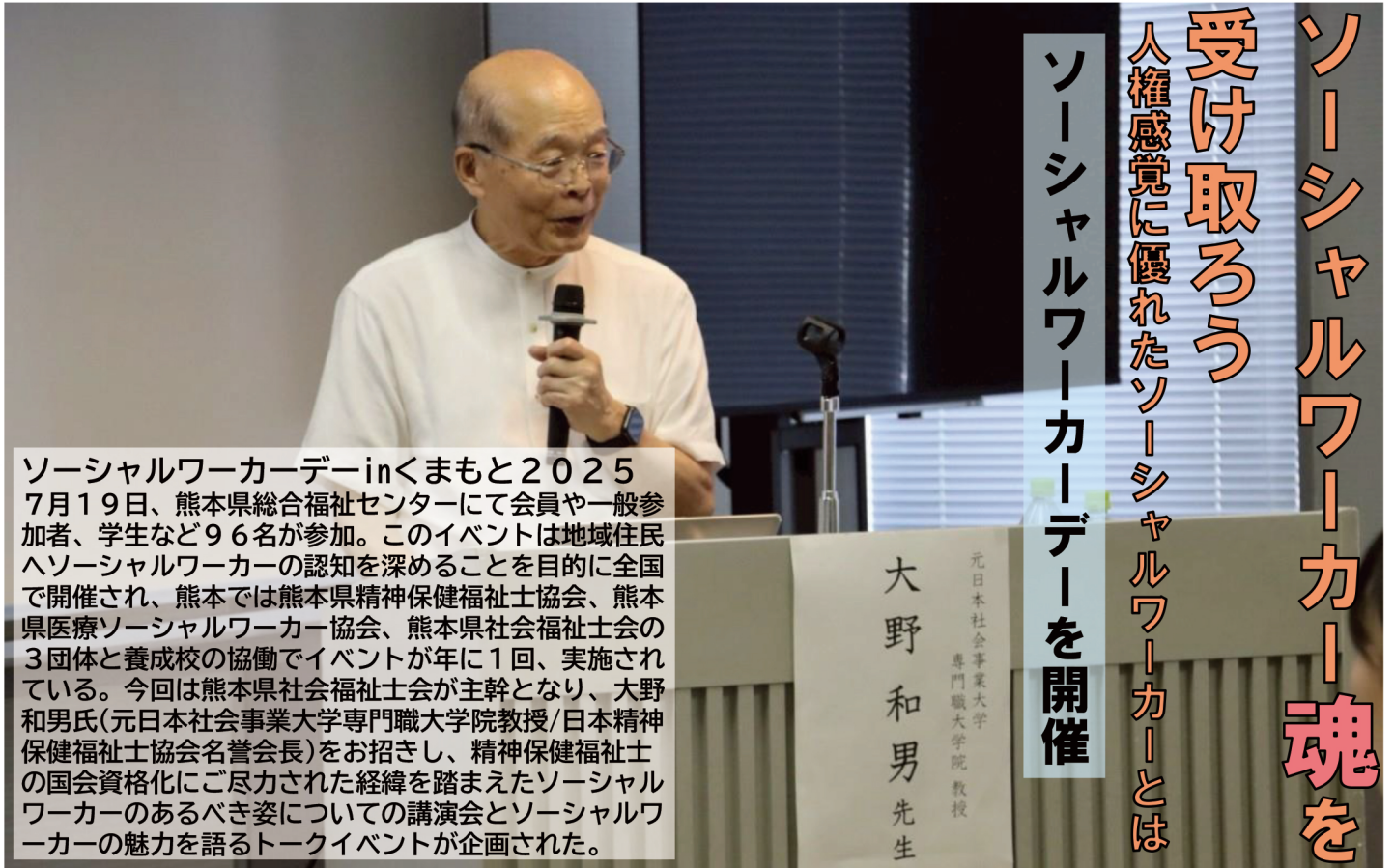
▲社会福祉セミナーの様子

講演の冒頭で宮川氏は、「あきらめないこと」「どうすればできるかを考えること」「さまざまな人と連携して考えること」の大切さを伝えたいと語られました。講演の中では、車いすを利用されている方など当事者が「あきらめること」に慣れてしまっている現状に触れ、誰と出会い、誰とつながるかによって、その人の人生が大きく変わる可能性があることを強調されました。また「本人の可能性の芽を摘まないでほしい」という言葉には深い思いが込められていました。

宮川氏が実践されてきた数々のエピソードに耳を傾ける中でその取り組みがソーシャルワークと重なる部分が多く、新たな視点や経験値として吸収することができ、有意義な時間となりました。
(広報委員会 村上)



▲講師へ記念品を贈呈

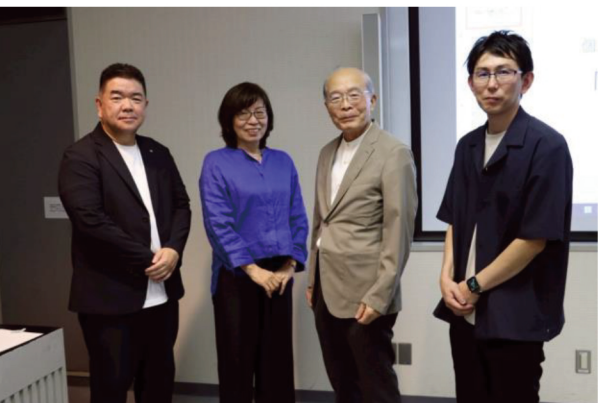


ソーシャルワーカーデーinくまもと2025
 7月19日、熊本県総合福祉センターにて会員や一般参加者、学生など96名が参加。このイベントは地域住民へソーシャルワーカーの認知を深めることを目的に全国で開催され、熊本では熊本県精神保健福祉士協会、熊本県医療ソーシャルワーカー協会、熊本県社会福祉士会の3団体と養成校の協働でイベントが年に1回、実施されている。今回は熊本県社会福祉士会が主幹となり、大野和男氏(元日本社会事業大学専門職大学院教授/日本精神保健福祉士協会名誉会長)をお招きし、精神保健福祉士の国会資格化にご尽力された経緯を踏まえたソーシャルワーカーのあるべき姿についての講演会とソーシャルワーカーの魅力語るトークイベントが企画された。

▲熱く講話する大野和男氏



▲満席となった会場の熊本県総合福祉センター



▲左から木ノ下高雄会長(熊本県精神保健福祉士協会)、梅田孝子会長(熊本県社会福祉士会)、大野和男氏、久保茂樹会長(熊本県医療ソーシャルワーカー協会)

大野氏による講話は、1969年に発生した、ソーシャルワーカーが人権侵害を訴えられた問題、「Y問題」(ご本人Y氏が親の意思によって精神科病院へ入院となった事例)を振り返ることで、ソーシャルワーカーが本来持つべき倫理性や専門性、加害性について問い直し、ご本人の立場に立つことの意義やソーシャルワークの原点を見つめ直す機会となりました。大野氏はさらに、組織に所属するソーシャルワーカーの実践には常に福祉労働者としての二重拘束性があり、専門職としてそのジレンマに向き合い続けることこそが人権感覚に優れたソーシャルワーカーであると語られ、私自身もソーシャルワーカーとしてご本人を制度の枠の中や所属する組織の都合でとらえ、人権を侵害する加害性があることを常に意識するべきだと感じました。
 (広報委員会 田口)

話して♪聴いて♪トークラリー～



イベントの後半は、一般参加の方や学生の皆さんが、3団体に所属する現役ソーシャルワーカーに名刺をもらいながら、聴きたいことを尋ねる時間が設けられ、ソーシャルワーカーの魅力について語り合う場となった。



多様な分野の活動に参加しよう

新規合格者の集いを開催



新規合格者の集い2025
会員サービス委員会の主催により毎年1回開催され、新規で社会福祉士の国家資格に合格された方を対象に、社会福祉士の研修や委員会活動、ブロック活動などについて紹介。今年度は8月9日に市民会館シアーズホーム夢ホールにて9名の新規合格者を迎えて開催。



▲西田副会長の挨拶を聞く参加者



▲最後に参加者全員での集合写真

新規合格者の集いでは、西田副会長からの挨拶のあと、会員サービス委員会の田中委員長より熊本県社会福祉士会の概要について説明があり、研修委員会の綾香委員長より生涯研修制度について説明されました。
その後、各委員会の活動について、委員会ごとのブースに分かれて説明があり、参加者からは「多様な分野の活動があることを知れてよかったです」との声が聞かれました。
(広報委員会 田上)



▲委員会ごとにブースで説明



▲若い世代でにぎわう社会福祉士会の相談ブース

福祉の仕事を知りたい

福祉の就職総合フェア
で相談ブース開設

6月30日、福祉の就職総合フェア2025が開催され、熊本県社会福祉士会の相談ブースが開設されました。
県内約70法人の社会福祉事業所がブースを出展する合同説明・面談会には、若い世代が多く参加されており、参加された高校生からは、「社会福祉士の資格をとると、どんな仕事があるのですか？」などと積極的な質問があっていました。
ブースでは担当スタッフが社会福祉士の資格取得方法や活かし方等について詳しく説明していました。
(広報委員会 田上)

あきらめない姿勢を学ぶ

こうのとりのゆりかご 現地見学



子ども家庭支援委員会では、5月の研修として、こうのとりのゆりかご（慈恵病院）の現地見学を行いました。

熊本では、慈恵病院が赤ちゃんポストを全国で初めて運用を開始したということもあり、メディアなどで耳にする機会も多かったのですが、今回は実際に対応されている看護師さん、相談員さんのお話を伺い、ゆりかごに赤ちゃんを預けるといふ大変貴重な体験もさせていただきました。

敷地内の細道▶

こうのとりのゆりかごは、敷地内の細道を通った先にありました。「お母さんへ」と書いてある手紙を取らないと扉が開けられない仕組みになっていました。扉を開けると、そこには温かいベビーベッドが用意してありました。

私たちは実際に人形（赤ちゃん）を抱っこして、そのベッドに置きました。

どんな思いでここまで来たのだろう、不安でいっぱいだったんじゃないだろうか、それでもこの子には幸せになってほしいと願っていたんじゃないだろうか、思いを馳せ涙する会員の方もいらっしゃいました。



◀人形を置く体験をする参加者

子ども家庭支援委員会 宮部 早織



▶病院外観



預け入れた実母が抱えている問題やその後の彼女たちの生活についてなど、今回、お話を聞いてとても内容が深く、そこから波及する課題など厳しい現実があることを知ったのですが、一番私を感じたことは、関わる職員さんの諦めない気持ち、そしてこうのとりのゆりかごが、職員さん、実母さん、養親さん、支援をしてくださる多くの方々の愛に包まれているということでした。

まず私たちはこの活動について正しく理解し、今回の研修を受けて自分たちにできることは何なのか改めて向き合うことが大切なのだと感じました。貴重な機会をくださった慈恵病院さんに心より感謝いたします。



▶深い内容の講話に聞き入る参加者の様子



▶敷地内にある相談窓口の案内

誰一人取り残さない

継続的な支援を



ミャンマー大地震 被災地活動支援金

3月2日に発生したミャンマー大地震で、日本社会福祉士会も所属している日本ソーシャルワーカー連盟（JFSW）が、現地で活動するアジアのソーシャルワーカーを側面的に支援する活動として義援金募集に取り組むことになる中、日本社会福祉士会を通じて協力依頼があり、熊本県社会福祉士会では、これまで理事会や八代ブロック研修、基礎研修、定時社員総会等で募金活動を行ってきました。募金へご協力頂きました皆さま、ありがとうございます。

被災地活動支援金 合計33,831円



被災地活動支援金は日本ソーシャルワーカー連盟へ送金



募金活動の様子

被災地支援の募金箱

社会福祉士のおしごと紹介カード

熊本県社会福祉士会が独自に作成。子どもたちにお困りごとを抱えた方へどう向き合うかを考えてもらうカードキット。このカードキットの体験をきっかけに、医療職を目指していた児童が「社会福祉士になりたい」と言い始めたというエピソードもあり、効果が期待されている。

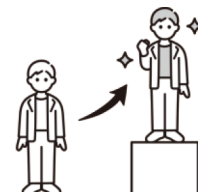


熊本県社会福祉士会では、若年層を中心とした新たな会員の拡大と組織の活性化を目指し、「つながる力・広がる未来1000人会員推進プロジェクト」を開始しました。

福祉の未来をつなぐ

新しい一歩

つながる力・広がる未来プロジェクト



2025年度には、日本社会福祉士会の「正会員に対する活動助成」に本プロジェクトが採択され、100万円の助成を受けることになりました。実施期間は2026年3月まで。

プロジェクトでは、会の魅力を発信するための4つの施策を展開していきます。

- ① ホームページを全面的にリニューアルし、会員向け機能の充実と情報発信力を強化。
 - ② 小中学生に社会福祉士の仕事を楽しく紹介する「おしごと紹介カード」を制作し、将来の担い手を育成。
 - ③ 若手会員のリアルな働き方を紹介する「密着 社会福祉士の一日」動画を制作。
 - ④ 県士会の活動内容を伝えるPR動画を制作。
- これらは今後、ホームページや本会のSNS等を通じて広く発信していく予定です。
- プロジェクトは、会員サービス委員会、相談委員会、広報委員会の有志メンバーを中心に進めています。

（広報委員会 魚谷）

全国から社会福祉士が

分野を越えてつながる

日本社会福祉士会 全国大会 社会福祉士学会 島根大会へ参加

7月5・6日にかけて、島根県松江市の「くまもとびギメッセ（島根県立産業交流会館）」にて、第33回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 島根大会が開催されました。全国各地から多くの社会福祉士が集まり、活発な意見交換や情報共有が行われ、地域や分野を超えたつながりを感じられる2日間となりました。熊本県社会福祉士会からは6名が参加し、シンポジウムや分科会を通じて最新の実践事例や研究成果に触れ、それぞれの現場に持ち帰るべき多くの学びを得ました。社会福祉士としての使命と専門性を改めて確認できた貴重な機会となりました。



▲開会式の様子

適切なSNSの発信で

一緒に活動する仲間づくり

会員の皆様、関係者の皆様へ 熊本県社会福祉士会からの注意事項

本会が主催する研修等におけるSNS等の発信について

01

個人情報保護と肖像権の尊重

- ・研修中や研修会場を撮影された写真や資料には、参加者の個人情報が含まれている場合があります。これらの情報は慎重に扱い、フェイスブックやインスタグラム等SNSでの公開は控えてください。
- ・万が一、SNSで写真等を公開をされる場合には必ず個別に本人の許可を得てください。
- ・講師の方の写真等について、公開は原則厳禁です

02

著作権の保護

- ・研修資料や使用されるスライドには講師の方の著作権があります。研修資料等についてSNS等での公開は講師の方や主催者側からの許可がない限り、固くお断りいたします。
- ・研修中の動画撮影、録音や詳細な内容のSNS等への投稿は固くお断りいたします。

03

トラブル回避

- ・01、02に記載してある点について、許可のない場合におけるSNS掲載はお断りいたします。SNS等に掲載する場合は、必ず事前に許可を取ってください。円滑な研修運営のためにもご理解と協力をよろしくお願いいたします。

（一社）熊本県社会福祉士会 情報管理委員会（2025年2月10日作成）

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
インターネット上で人と人とのつながりを
促進・サポートするサービスのこと



会員の皆様、関係者の皆様、日頃から熊本県社会福祉士会の活動に関する情報の発信にご協力いただき、ありがとうございます。

本会が主催する研修等についてSNSなどにアップロードする際は、右記の注意事項にご注意いただき、これからも積極的な情報発信をよろしくお願いたします。



会員の皆様へ

余暇良か写真 募集中



投稿者 Y.Tさん
『つかまえた!』



投稿者 H.Tさん
『昭和の雰囲気は若い人に人気!?!』

暑く、長い夏が続いています。ここでは、会員の皆様から投稿があった余暇の時間のお写真を紹介します。ぜひ、皆様からの写真の投稿をお待ちしております。

よかよか 余暇良か写真館

投稿先
広報誌
84号
(12月)



kouhou.csw@gmail.com

こちらのメールにお気軽にご投稿ください。

※氏名(イニシャル、ペンネーム可)、写真タイトルを添えてください。

研修会のご案内

熊本市中央ブロックより
研修会のご案内

『ホワイトボード・ミーティング
の活用について』

講師 熊本県スクール
ソーシャルワーカー
坂本 眞奈美 氏

日時▼8月30日(土)

14時30分～16時30分

(受付開始14時)

場所▼熊本県総合福祉センター

3階 第4会議室

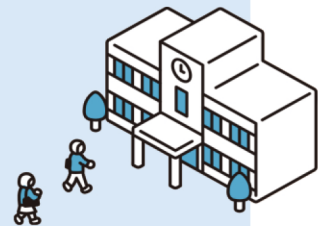
詳細▼ホームページに記載あり

皆さん、ソーシャルワーカーとして会議の進行やファシリテーターの役割を期待される場面があるのではないのでしょうか。ホワイトボードを使うことで参加者が積極的に議論に参加しやすくなり活気が高まります。今回は熊本県社会福祉士会の坂本さんに活用の仕方やファシリテーションの重要性をお話ししていただきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

参加申し込み
受付フォーム



情報交換会も
開催調整中!



参加申し込み
受付フォーム



子ども家庭支援委員会より
9月の研修会のご案内

『学校におけるLD児
の対応について』

講師 熊本県立かもと稲田支援学校
教諭 濱武紀久子 氏

日時▼9月6日(土)

13時30分～15時30分

場所▼熊本市男女共同参画センター

はあもにい

定員▼先着30名

費用▼会員、学生無料

その他の方10000円
(要事前振込)

これまでの教員経験や地域の学校を支援する巡回相談で出会ったLD児に対し、学校でどのような対応をしてきたのか具体的なお話また多職種で支援体制を構築する為にどのような点を留意していたらよいか考える機会となる研修です。

相談委員会より
障がい分野研修のご案内

障がい分野研修

『心にエネルギーを！
つながりと共感で
元気になる研修(仮)』

講師 九州ルーテル学院大学
准教授 西章男 氏

日時▼10月下旬(土)午後

場所▼熊本市中央区内の会場

対象▼障がい分野の事業所に
お勤めの社会福祉士

費用▼会員、学生無料
非会員有料(料金未定)

九州ルーテル学院大学の西准教授を講師にお招きし、社会福祉士が元気になり、リフレッシュできる講話を行っていただきます。グループワークでは、日頃の悩みを共有し、気づきやつながりを得られる研修になります。

情報交換会も開催しますので、お気軽にご参加ください。詳細については、9月上旬ごろホームページでご案内します。



詳細は熊本県社会福祉士会
ホームページをご参照ください
<http://kumacsw.com>
「ホーム」→「研修・講演」



つづやき

紙ベースの広報紙をお読みの方は、なんとなく広報誌が変わったように感じられたと思いますが、じつは今回から文章が縦書き中心で製本を右綴じに変更しています。

横書きの英単語が多い文章が増え、じつは日本でも横書き左綴じで左上から読むことが主流となっている雑誌が多い中、あえて右上から読むスタイルへ変更しました。

昔から日本の漫画は縦書き右綴じスタイル。海外でもMANGAは大人気で、「右上から読みはじめるのが日本人スタイル」として認識され、英単語は読みやすいように横書きですが、右綴じのまま海外でも愛されています。

もはや紙ベースの広報誌が生き残るかもわからない時代ですが、読みやすさに配慮しながら多様性が尊重される時代に熊本県社会福祉士会の際立つ個性的なスタイルが愛されるような広報誌づくりを目指しています。
(広報委員会 田口)

CSWくまもと83号

【事務局】
一般社団法人
熊本県社会福祉士会
熊本市東区健軍本町1-22
東部ハイツ105
TEL 096-285-7761
FAX 096-285-7762
発行責任者 梅田 孝子
編集責任者 田上 緒
発行月 2025年8月